

株式会社 磯貝製作所



2023年度 環境経営レポート 2023年度【第64期】（2023年06月～2024年05月）



エコアクション21
認証番号0009185

表富士工場



埼玉工場



改定日：2025年03月13日
発行日：2024年09月26日

目次

1. 組織の概要・・・3、4ページ
2. 対象範囲・・・4ページ
3. 環境経営方針・・・5ページ
4. 2023年度 全社環境経営目標・・・6ページ
5. 2023年度 全社環境経営目標の実績・・・7ページ
6. 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容・・・8ページ
7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び
評価の結果並びに違反、訴訟等の有無・・・9、10ページ
8. 代表者による全体評価と見直しの結果・・・10ページ
9. 改定記録・・・11ページ

1. 組織の概要

1) 事業所名及び代表者

株式会社 磯貝製作所 代表取締役社長 千葉 健一郎

2) 所在地

本社(経理) : 東京都杉並区阿佐谷南3-37-13
大同ビル905号(2013年認証登録)

水戸営業所 : 茨城県ひたちなか市東石川3545-4(2013年認証登録)

埼玉工場 : 埼玉県日高市下高萩新田22-3(2013年認証登録)

表富士工場 : 静岡県富士宮市山宮3507-11(2013年認証登録)

3) 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者 : 菅原 拓也

担当者 : 【兼】菅原 拓也

連絡先 : 電話 042-978-5267

連絡先 : FAX 042-978-5268

電子メール : sugawara-takuya@isogai-ss.co.jp

ホームページ : <http://isogai-ss.co.jp>

4) 事業の内容

各種切削シャフト等の製造販売

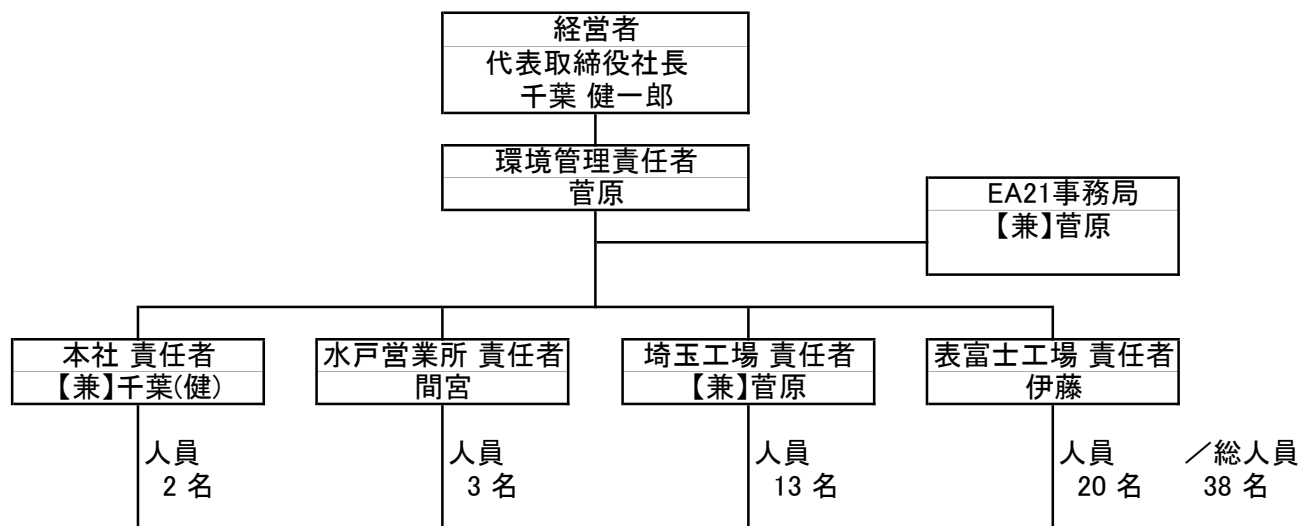
(組込機器: 液晶及び半導体実装製造装置部品、医療機器、
銀行端末機器、通信機器、各種産業機器部品等)

5) 2023年度事業規模

事業規模	単位	合計	本社/水戸	埼玉工場	表富士工場
売上高	百万円	418.2	96.2	169.9	152.2
生産高	百万円	327.9		88.0	240.0
人員数	名	38	5	13	20
床面積	m ²	2,671.4	181.4	1,123.8	1,366.3

(生産高=調達内訳)

6)環境経営実施体制



役職	役割・分担
経営者	1.取組の対象組織・活動の明確化(要求事項1) 2.経営における課題とチャンス の明確化(要求事項2) 3.環境経営方針の策定(要求事項3) 4.実施体制の構築(要求事項7) 5.代表者による全体の評価と見直し(要求事項14) 6.環境管理責任者の任命
環境管理責任者	1.環境負荷と環境への取組状況の把握及び評価(要求事項4) 2.環境関連法規等のまとめ及び遵守状況の確認・評価(要求事項5・13) 3.環境目標の策定及び達成状況の確認・評価(要求事項6・13) 4.環境活動計画の策定、実施状況の確認・評価及び問題の是正・予防(要求事項6・13)
EA21事務局	1.環境負荷と環境への取組状況の把握(要求事項4) 2.環境関連法規等のまとめ(要求事項5) 3.環境関連文書及び記録の作成・管理(要求事項12)
部門責任者	1.教育・訓練の実施(要求事項8) 2.環境コミュニケーションの実施(要求事項9) 3.実施及び運営(要求事項10) 4.環境上の緊急事態への準備及び対応(要求事項11)
一般従業員	1.各部門長の指示により、環境方針、環境目標、環境活動計画の内容を理解し、取り組みを実施(要求事項3・6)

2. 対象範囲

1) 対象範囲は「1.組織概要 2)所在地」及び
「1.組織概要 4)事業活動の内容」欄に記載

2) レポートの対象期間及び発行日は表紙に記載

3. 環境経営方針

【基本理念】

株式会社 磯貝製作所は精密機械切削部品の製作に携わっており、全ての事業活動を通じて「地球の環境保全」「生物多様性保全」「地域社会との調和」「資源の有効活用」の重要性を深く認識し、次世代へ豊かな自然と限りある資源を継承する為に全社員参加のもとに環境活動を推進します。

【基本方針】

- ・ 全ての事業活動で係わる環境への影響を少なくする為に省資源、省エネルギー、廃棄物の削減、リサイクルの推進、環境汚染の予防等の環境保全活動を積極的に行います。
- ・ 関連する環境の法規等、その他の要求事項を遵守して環境保全に取り組めます。
- ・ 本環境活動を推進し全社員の環境意識の向上を図るとともに、運用、評価、見直しを実施して環境マネジメントシステムの継続的な改善に努力します。

【環境行動指針】

1. 二酸化炭素排出量削減

- ① 製作工程の見直し、照明、空調等の運用を効率的に行いエネルギーの削減に取り組めます。
- ② エコドライブにより排出ガスの低減に努めます。
- ③ 効率の良い運送、配送に努めます。
- ④ 設備更新による生産効率の向上に努めます。

2. 廃棄物排出量削減

- ① 廃棄物の分別を徹底して排出量削減に努めます。
- ② 廃棄物処理業者はリサイクルを行う業者に委託します。
- ③ 適正在庫の管理に努めます。

3. 水使用量削減

- ① 節水の意識を高め水使用量削減に努めます。

4. 化学物質使用量削減

- ① 種類、及び量を管理し削減に努めます。

5. 環境に配慮した工程の改善

- ① 製品不良発生率の軽減に努めます。
- ② 納期遵守率95%以上を目指します。

この環境経営方針を全社員に周知し、一般にも公開します。

制定：2012年09月01日

改定：2025年03月11日

株式会社 磯貝製作所

代表取締役社長 千葉 健一郎

4. 2023年度 全社環境経営目標

作成年月日：2023年06月20日

4. 2023年度 全社環境経営目標					承認		作成	
					千葉(健)		菅原	
作成年月日: 2023年06月20日								
No	項目		基準値 ※2	CO2 換算係数	年度目標			
					2023年度	(2024年度)	(2025年度)	
1	経営状況	売上額※1	¥ 450,000,000/年		基準に対し 11.1% 増	基準に対し 11.1% 増	基準に対し 13.3% 増	
					¥ 500,000,000/年	¥ 500,000,000/年	¥ 510,000,000/年	
2	二酸化炭素 排出量削減	電力使用量※2-①		763,627 kWh/年	0.467	基準値に対し 1.0% 削減	基準値に対し 1.5% 削減	基準値に対し 2.0% 削減
						755,991 kWh/年以下	752,173 kWh/年以下	748,354 kWh/年以下
		化石燃料 使用量 (営業車) ※2-①	ガソリン	4,829 L/年	2.320	基準値に対し 1.0% 削減	基準値に対し 1.5% 削減	基準値に対し 2.0% 削減
							4,781 L/年以下	4,757 L/年以下
		軽油	3,196 L/年	2.580		3,164 L/年以下	3,148 L/年以下	3,132 L/年以下
CO2合計			376,062 kg-CO2/年		372,302 kg-CO2/年以下	370,422 kg-CO2/年以下	368,541 kg-CO2/年以下	
3	廃棄物 排出量削減	一般廃棄物 排出量 ※2-②		1,072 kg/年		基準値に対し 1.0% 削減	基準値に対し 1.5% 削減	基準値に対し 2.0% 削減
						1,061 kg/年以下	1,056 kg/年以下	1,050 kg/年以下
		産業廃棄物 排出量 ※2-②		886 kg/年		基準値に対し 1.0% 削減	基準値に対し 1.5% 削減	基準値に対し 2.0% 削減
						877 kg/年以下	873 kg/年以下	869 kg/年以下
		廃油 排出量 ※2-②	有価	1,766 L/年		基準値に対し 1.0% 削減	基準値に対し 1.5% 削減	基準値に対し 2.0% 削減
							1,748 L/年以下(運用管理)	1,740 L/年以下(運用管理)
		廃油	528 L/年			基準値に対し 1.0% 削減	基準値に対し 1.5% 削減	基準値に対し 2.0% 削減
						522 L/年以下(運用管理)	520 L/年以下(運用管理)	517 L/年以下(運用管理)
4	水(水道) 使用量削減 ※3		357 m³/年		基準値に対し 0.0% 削減	基準値に対し 0.0% 削減	基準値に対し 0.0% 削減	
					357 m³/年以下(運用管理)	357 m³/年以下(運用管理)	357 m³/年以下(運用管理)	
5	化学物質管理 (活動内容)	①加工油等の購入量収集(部門別使用量一覧管理) ②消防法危険物の数量管理(環境点検簿) ③消防法危険物の保管管理(環境点検簿) ④化学物質管理表による管理(環境点検簿)			①～④の管理を実施のこと。	①～④の管理を実施のこと。	①～④の管理を実施のこと。	
6	工程改善 (環境配慮)	①工程内不良率 低減 ※4	ISO9001品質方針 工程内不良率 =0.05%以下 ※4		0.05% 以下	ISO9001品質方針に準ずる(前年度5月に決定)	ISO9001品質方針に準ずる (前年度5月に決定)	

補足説明

※1:売上額は2020年度目標及び2021年度目標を基に、基準値の設定とした。

※2:経済活動及び受注状況の変化による基準値と2021年度実績の差異修正を目的として、基準値の再設定(下記①と②の内容を考慮)とした。
今後3年間はこの基準値を用いる。なお、疑義または世界情勢(社会情勢及び経済活動含め)や生産状況の急激な増減がある場合は別途協議の後に決定とする。

①基準値は電力及び化石燃料の2021年度実績値を基にして再設定とした。

②一般廃棄物及び産業廃棄物並びに廃油は2017年度～2021年度の平均値を基にして再設定(レイアウト変更及び設備処分等による一時的廃棄物増加を含む平均値)とした。

※3:水使用量は前年度までと同様の目標とする(炊事/掃除/水洗用途であり、現状は削減が困難な状況である。このため、削減率は今後も0.0%とする。なお、節水についての取組は今後も継続とする)。

※4:ISO9001品質方針の工程内不良率=0.05%以下として再設定(2023年度【第64期】)とした。

※5:電力の二酸化炭素排出係数は、前期同様に各電力会社2018年度実績全社の加重平均0.467kg-CO2/kWhを適用し算出した。

※6:都市ガス、LPガス、灯油は調理、温水、一部暖房用途であり、現状は目標項目より除外とした。

5. 2023年度 全社環境経営目標の実績

作成年月日:2024年08月20日

5. 2023年度 全社環境経営目標の実績

作成年月日：2024年08月20日

					承認	作成
					千葉(健)	菅原
No	項目		基準値 ※2	CO2 換算係数	2023年度	達成評価
					目標値	
1	経営状況	売上額※1	¥ 450,000,000/年		基準に対し 11.1% 増 ¥ 500,000,000/年	¥ 418,242,255/年 -16.4% ✖
2	二酸化炭素 排出量削減	電力使用量※2-①	763,627 kWh/年	0.467	基準値に対し 1.5% 削減 752,173 kWh/年以下	538,094 kWh/年 -28.5% ○
		化石燃料 使用量 (営業車) ※2-①	ガソリン 4,829 L/年	2.320	基準値に対し 1.5% 削減 4,757 L/年以下	3,918 L/年 -17.6% ○
			軽油 3,196 L/年	2.580	3,148 L/年以下	2,088 L/年 -33.7% ○
		CO2合計	376,062 kg-CO2/年		370,422 kg-CO2/年以下	265,768 kg-CO2/年 -28.3% ○
3	廃棄物 排出量削減	一般廃棄物 排出量 ※2-②	1,072 kg/年		基準値に対し 1.5% 削減 1,056 kg/年以下	850 kg/年 -19.4% ○
		産業廃棄物 排出量 ※2-②	886 kg/年		基準値に対し 1.5% 削減 873 kg/年以下	591 kg/年 -32.3% ○
		廃油 排出量 ※2-②	有価 1,766 L/年		基準値に対し 1.5% 削減 1,740 L/年以下(運用管理)	1,359 L/年 運用管理 ○
			廃油 528 L/年		基準値に対し 1.5% 削減 520 L/年以下(運用管理)	900 L/年 運用管理 ○
		水(水道) 使用量削減 ※3	357 m³/年		基準値に対し 0.0% 削減 357 m³/年以下(運用管理)	315 m³/年 運用管理 ○
5	化学物質管理 (活動内容)	①加工油等の購入量収集(部門別使用量一覧管理) ②消防法危険物の数量管理(環境点検簿) ③消防法危険物の保管管理(環境点検簿) ④化学物質管理表による管理(環境点検簿)		①～④の管理を実施のこと。	①～④の管理を実施のこと。 (運用管理)	運用管理 ○
6	工程改善 (環境配慮)	①工程内不良率 低減 ※4	ISO9001品質方針 工程内不良率 =0.05%以下 ※4		ISO9001品質方針に準ずる(前年度5月に決定)	0.013% #VALUE! ○ (達成評価 = 実績値 - 目標値)

補足説明

※1: 売上額は2020年度目標及び2021年度目標を基に、基準値の設定とした。

※2: 経済活動及び受注状況の変化による基準値と2021年度実績の差異修正を目的として、基準値の再設定(下記①と②の内容を考慮)とした。
今後3年間はこの基準値を用いる。なお、疑義または世界情勢(社会情勢及び経済活動含め)や生産状況の急激な増減がある場合は別途協議の後に決定とする。
①基準値は電力及び化石燃料の2021年度実績値を基にして再設定とした。
②一般廃棄物及び産業廃棄物並びに廃油は2017年度～2021年度の平均値を基にして再設定(レイアウト変更及び設備処分等による一時的廃棄物増加を含む平均値)とした。

※3: 水使用量は前年度までと同様の目標とする(炊事/掃除/水洗用途であり、現状は削減が困難な状況である。このため、削減率は今後も0.0%とする。なお、節水についての取組は今後も継続とする)。

※4: ISO9001品質方針の工程内不良率=0.05%以下として再設定(2023年度【第64期】)とした。

※5: 電力の二酸化炭素排出係数は、前期同様に各電力会社2018年度実績全社の加重平均0.467kg-CO2/kWhを適用し算出した。

※6: 都市ガス、LPガス、灯油は調理、温水、一部暖房用途であり、現状は目標項目より除外とした。
なお、本年度の二酸化炭素排出量の総量は、99,369.7kg-CO2である(「EA21環境への負荷の自己チェック表」の算出による値)。

6. 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

環境目標	取組項目	取組内容		
		目標に対しての結果 及び前年比	評価	次年度の 取組内容
0.経営状況 0-1.売上増額	①法人(個人)/ルート/新規等の営業 ②商談/契約/納品/請求 ③売上(粗利)管理 ④展示会 ⑤商談会	・売上 -16.4% (前年比 2.7%)	×	・取組継続
1.CO2削減 1-1.電力 消費量削減	①空調設定温度の徹底 [冷房時:28度、暖房時:22度] ②不使用箇所の電源OFF徹底 ③工程間の仕掛を減らし、 待機時間の削減を図る ④空調フィルター清掃・管理を実施	・電力 -28.5% (前年比 -13.9%)	○	・取組継続
1.CO2削減 1-2.化石燃料 消費量削減	①エコドライブの励行 [急発進、急加速、空ぶかし排除] ②配送ルートの適正化に取り組む [荷の集約と最短コースの選定] ③定期的な車両整備点検の実施 [オイル交換、タイヤ空気圧] ④積載物の効率化に努める [不要な空箱等は積まない]	・ガソリン -17.6% (前年比 -15.2%) ・軽油 -33.7% (前年比 -13.9%)	○	・取組継続
2.廃棄物 排出量削減	①コピー用紙の裏使用 ②紙製品の使用削減 ③分別の徹底 ④使い捨て品使用の抑制 ⑤不良品の削減 ⑥マニフェスト管理 ⑦残材料加工機の活用	・一般廃棄物 -19.4% (前年比 -1.4%) ・産業廃棄物 -32.3% (前年比 -14.7%)	○	・取組継続
3.水 使用量削減	①節水表示で意識向上 [掲示物、ポスター、など] ②水量・水圧の調整 ③定期的な漏水チェック ④2回/年のBOD管理 [埼玉工場(浄化槽)のみ]	・各工場の節水に努め 活動及び管理を実施。	○	・取組継続
4.化学物質 管理の徹底	①購入・使用量の調査 ②消防法危険物の数量管理 ③消防法危険物の保管管理 ④化学物質管理表による管理	・適正に調査及び 管理を実施。	○	・取組継続
5.環境に配慮した 工程の改善	①新規品・短納期品の工程調査 ②問い合わせ事項の履歴保存 ③毎週末5S実施日とする ④エコ整備の推進	・ISO9001活動及び 不良軽減活動を実施。	○	・取組継続

※取組実施についての評価【取組あり=○ / 一部取組=△ / 取組なし=×】。

7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無

当社に係る環境関連法規等は下記の通りです。
遵守状況を 2024年6月末 に確認した結果、違反はありませんでした。
また、関連機関からの違反等の指摘は、過去5年間ありません。

区分	環境関連 法規等名称	法令条項	当社該当事項	遵守事項等	結果
廃棄物	廃棄物処理 及び清掃に 関する法律	法6の2	一般廃棄物の処理委託	①区条例に従って排出又は環境省令で定める。もっぱら物回収業者に委託 ②大量に排出する場合は、許可を取る。 一般廃棄物収集運搬業者に委託	○
		法12.2 規8.1~3	産業廃棄物の保管 (廃油、廃プラ、廃金属等)	①保管場所の囲い、衛生管理(飛散、流出、 地下浸透等防止) ②表示板の設置	○
		法12.3~4 令6の2.3	産業廃棄物の処理委託	①許可を受けた収集運搬、中間処理事業者 との委託契約締結。 契約書は契約終了後5年間保管。 ・委託事業者の事業区分、品目、 取扱地県等の許可、許可期限等の 許可条件確認(許可証の写し添付) ②記載事項確認、また定期的確認 ・許可期限の確認(許可証写しの再提出)	○
		法12の3 規8の19~38	産業廃棄物の処理委託 (マニフェストの交付、 処理状況確認、遅延報 告、 保存、交付状況等の報 告)	①マニフェストの次のように交付 ・種類毎、運搬先毎、運搬車毎 ・種類、数量、性状、運搬処分者名、 最終処分地記載 ②マニフェスト返送日の確認、記録、保管 交付マニフェストのB2、D票は90日 (特別産業廃棄物は60日)以内、E票は 180日以内に返却されない場合は、 30日以内に知事へ報告 ③交付マニフェスト(A票、B2票、D票、 E票)の5年間保管 ④報告書(毎年6月末迄)提出、写し保管	○
資源循環 (リサイクル)	自動車 リサイクル法	法8	自社自動車の廃棄	①自社使用済み自動車のリサイクル処分	○

騒音・振動	騒音規制法	法5 法6~8、 令別表1	コンプレッサー (7.5kW以上)	①規制基準が遵守できる騒音防止対策 ②7.5kW以上の空気圧縮機の届出	○
	振動規制法		コンプレッサー (7.5kW以上)	①規制基準が遵守できる振動防止対策 ②7.5kW以上の空気圧縮機の届出	○
	埼玉県環境 確保条例	条50	コンプレッサー (7.5kW以上)	①規制基準が遵守	○
	静岡県環境 確保条例	条51 条52	コンプレッサー (3.75kW以上)	①規制基準が遵守 ②特定施設の設置の届出	
消防	火災予防 条例 (埼玉県) (静岡県)	条58 規14 条31の1~3 条32	潤滑油、切削油 指定数量の倍数 埼玉工場0.39 表富士工場0.73	①少量危険物貯蔵取扱所設置を 消防署長に届出 ②少量危険物貯蔵取扱所の維持管理	○
水質汚濁	浄化槽法	2条 10条① 11条①	①埼玉工場 ②表富士工場	①安川商事(保守点検清掃) 4回/年 埼玉県環境検査協会研究協会 1回/年 ②工業団地管理	○
大気汚染	フロン排出 抑制法	法16 法37,39 法41,43 法45条3,4項 法74条6項	フロン使用業務用冷凍 空調機器の保全と点検、 フロン類を回収要する整 備、 廃棄	①機器の維持保全と点検、記録の保存 ②充填証明書、回収証明書の交付を受ける ③廃棄する場合は、回収依頼書又は 委託確認書を交付(写しを3年間保存) して依頼し、フロン類を回収後廃棄 ④引取証明書保存(3年)	○

8. 代表者による全体評価と見直しの結果

環境経営の取り組みは有効に機能しています。

2022年度【第63期】に売電会社の売電中止による電気料金の一時的(9ヶ月)な高騰となりましたが
現在では2021年度【第62期】2022年度【第63期】以前に回復の状況です。

しかし、原材料高騰による利益の圧迫は厳しいものがあります。

また、流出不良が発生することはお客様へご迷惑をかけるだけではなく

経営的にもダイレクトに影響していくものと改めて理解し、不良を発生させない事はもちろんのこと

発生しても流出させない品質向上の活動を行い、更なる不良低減活動を行い材料、電力、廃棄物、

時間のムダを削減する意識を持ち、今後もエコアクション活動の継続による環境経営の充実を図って行きます。

9. 改訂履歴

改定日	ページ	改定内容
2025/3/11	5	文言変更(3. 総排水量削減 → 3. 水使用量削減)
2025/3/13	6	4. 2023年度 全社環境経営目標: 年度目標を、2022年度～2024年度の目標 → 2023年度～2025年度の目標 に変更。
〃	8	標題訂正: 6. 環境経営 <u>目標</u> の取組結果とその評価、次年度の取組内容 ↓ 6. 環境経営 <u>計画</u> の取組結果とその評価、次年度の取組内容
〃	8	評価誤記訂正: 0. 経営状況 評価:○ → ×
〃	9	7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果: 状況確認日の誤記訂正: 遵守状況を 2024年5月末 に確認 → 2024年6月末 に確認